

逗子の未来協議会 レポート

No. 4（平成28年11月）

「逗子の未来協議会」とは（仮称）逗子市自治基本条例の検討を行うワークショップのことです。

第4回ワークショップのテーマは、「公共」

「公共」という言葉について、どのようなイメージをお持ちでしょうか？ 真っ先に思いつくのは「公共工事」？それとも「公共の福祉」？

イメージを膨らませるため、ワークショップではまず“漢字テスト”をしました。

(1)「公」のつく熟語

(2)「共」のつく熟語

をできるだけ多く挙げてください。

「公共」という言葉は、英語のパブリック（public）の翻訳語だと言われています。社会一般、おおやけ、社会全体に関すること、といった意味で使われる言葉です。

今回は、皆さん一人ひとりが、この「公共」の担い手であること、決してヒトゴトではないこと、を改めて考えていただき、これからの（仮称）自治基本条例の検討のベースとする機会としました。

「新しい公共」って、もう新しい？

「新しい公共」という言葉をご存じですか？

これは、従来は官（＝行政）が独占してきた領域を「公（おおやけ）」に開いたり、官だけでは実施できなかった領域を官民協働で担ったりするなど、市民、NPO、企業等が公的な財やサービスの提供に関わっていくという考え方です。

2009年10月、当時の鳩山首相が所信表明演説で「新しい公共」を国家戦略の柱としたことで、この言葉が広く知れ渡ることになりました。

さかのぼると、1995年、阪神・淡路大震災をきっかけに多くの市民がボランティアとして参加した“ボランティア元年”。その後、ボランティア団体の立場を強化すべきという声が高まり、「NPO」として法人格を付与することが検討され、特定非営利活動促進法（NPO法）ができたのが1998年。もう20年も前のことなんです。

その後、環境、福祉、防災…様々な分野で、市民やNPOなどが、その長所を活かして多くの活動をしてきました。もはや“新しい”とは言えない…!?では、逗子市ではなんて言おう!?

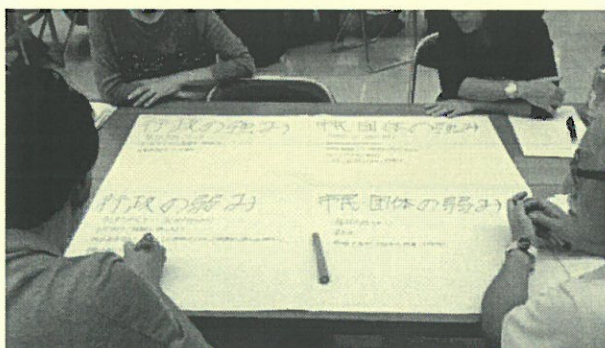
そこで、ワークショップでは、まず「行政と市民・団体の「強み／弱み」」を分析し、その後、「逗子らしい公共」とは何か？について意見交換しました。



「逗子らしい公共」を表すキーワード

- ◆ 住んでいる人の逗子愛が高い
- ◆ 多様性(多様な専門性をもつ)
- ◆ 市民の自主性・自発性が高い
- ◆ 行政と市民の距離が近い
- ◆ コンパクトシティ、小回りがきく
- ◆ 公共のルール・マナーを守る街並みに
- ◆ 自然と利便のバランス
- ◆ 若い人が住める街に！
- ◆ 老人の活用…活躍の場
- ◆ 専門性の高い市民団体が数多くある
- ◆ 手づくりの公共
- ◆ 共に生きていける逗子

※詳細は整理でき次第、市ホームページ等で公表します。



第1回から4回までのワークショップテーマ

「逗子の未来協議会」の第1回から第4回のテーマを図で表すと、右の図のようになります。

第1回「逗子市でこんなふうに暮らしたい」

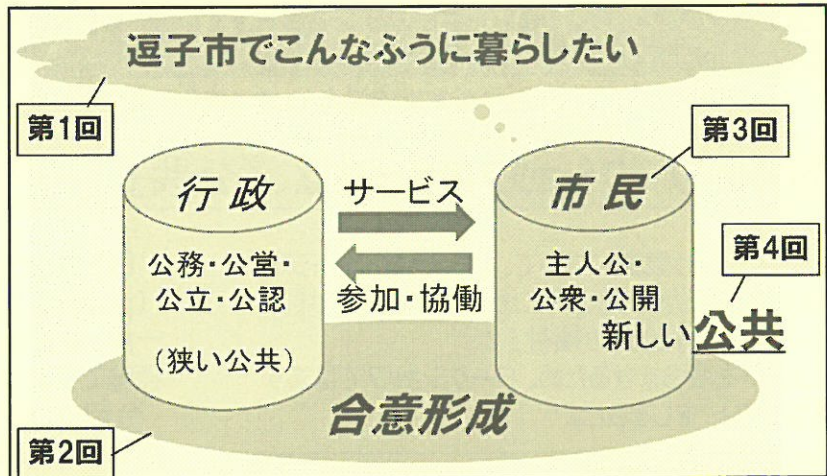
第2回「合意形成とルール」

第3回「市民」

第4回「公共」

自治基本条例を家に例えると、これらは骨格や外観になる部分です。

今後、“間取り”や“機能”に相当する具体的な条例要素について検討していきます。



市民協働推進員をご紹介します！

逗子の未来協議会には、市職員の「市民協働推進員」が参加しています。改めてご紹介します。



市民協働推進員は、市と市民、市民団体、事業者等様々な主体との協働によるまちづくりを推進するため、28課の市職員から30人が任命されています。

市民協働推進員は、小学校区を単位とした地域自治システムの推進を図る「地域担当職員」にも任命されていて、各々いずれかの小学校区の担当になっています。市民協働推進員も地域担当職員も、本来の業務にプラスアルファの業務です。

このたび逗子市の自治のあり方を検討するにあたって、行政組織の一端を担う市職員も意見交換に参加する必要があると考えました。そこで、全庁挙げての取り組みであること、常日頃協働のまちづくりの推進にあたっていることなどから、市民協働推進員が、この逗子の未来協議会に参加することとしました。

ワークショップは、結論だけを求めるのではなく、意見交換などを通じて、テーマに関する理解を深めながら、できるだけ多くの立場からの意見や課

題を抽出することを目的としています。

市民協働推進員は、グループでの意見交換が円滑に進められるよう進行役を担う場合もありますが、基本的には他の参加者の皆さんと同様に、自由に意見交換させていただいています。

※写真には、地域担当職員のリーダーも含まれています。

“漢字テスト”の答え

「公」と「共」のつく熟語の一例です。

<公>

公営・公園・公私・公式・公認・公務・公務員・公立・奉公・官公庁・公約・公約数・公演・公開・公害・公衆・公然・公表・公論・公算・公正・公平・公理・公約・公子・王公・三公・管公…

<共>

共同・共演・共学・共感・共産・共産党・共存・共著・共通・共通語・共犯・共謀・共鳴・共有・共用・共和国・共営・共栄・共益・共起・共襟・共依存・共催・共済・共晶・事共・社共…

お出かけ円卓フォーラムのお知らせ

「もっと知りたい」にお答えします！

企画課職員が、自治基本条例に関心をお持ちの皆さんのところへ伺って説明を行います。概ね10人以上のグループでお申し込みください。

広報『みんなで考えよう・みんなで作ろう！(仮称)自治基本条例』

逗子の未来協議会 レポート No.4 (平成28年11月)

発行：逗子市経営企画部企画課／電話：046-873-1111 (代表)／ファクス：046-873-4520

E-mail：kikaku@city.zushi.kanagawa.jp